

ご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の該当箇所	ご意見の要旨	本市の考え方
1	15ページ ②地域活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の担い手不足解消や町会への加入を促進するのであれば、戦前の尋常小学校の校区であった14地域について、それぞれの地域の規模も活動レベルも異なるので、現在の小学校区と同じになるよう統合すべき。</li> <li>・小学校区であれば知り合いも多く活動に参加しやすいと思われる。</li> <li>・年寄りの役員ばかりの地域活動には何の魅力もなく、その様な地域の町会に入れと言われても、無理だと思う。</li> </ul>	<p>地域活動は各地域において地域の皆さまが主体的に活動されているものであり、各地域の範囲についてもこれまでの地域の皆さまの取り組みの歴史の中で形作られてきたものであることから、地域の統合等については地域でのご議論をいただくことによりお決めいただく事柄であると考えております。</p> <p>また、西区役所としましては、地域活動の担い手不足解消等の課題を解消するため、地域コミュニティの必要性をお伝えしていくとともに、地域でボランティアとしてご活躍されている様々な方々を広報紙等で紹介することにより、若い世代をはじめ新たに住民となった方々に、より地域活動への理解と興味を持っていただけるよう、広報に努めてまいりたいと考えています。</p>
2	20ページ ①子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育園が続々とできているが、幼稚園は増やさないのか？</li> </ul> <p>保育園に入園するためには共働きなどの条件が必要。それにあてはまらない家庭には、やはり幼稚園が必要。</p>	<p>私立幼稚園等に約85%の園児が通っており、民間が多くの幼稚園教育ニーズの受け皿となっている現状を踏まえ、「民間において成立している事業については民間に任せる」という、市政改革の基本的な考え方に基づき、大阪市として現時点で市立幼稚園を新設する予定はありません。</p>
3	21ページ ②学校教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区では近年こどもの増加で、保育施設、幼稚園が不足、小中学校も教室が不足しているのは明らかなのに、具体的な対応策が全く載っていない。</li> </ul>	<p>西区将来ビジョン「きらぼか計画」は、西区の現状・課題を踏まえ、2018(平成30)年度から概ね5年間の西区のめざすべき将来像とその実現に向けた取り組みの方向性をとりまとめたものです。</p> <p>具体的な取り組み内容については、将来ビジョンの方向性のもと、単年度のアクションプランとして「運営方針」を定め、区民の皆さんに公表してまいります。</p>

4	21ページ ②学校教育支援	<p>・小学校中学校も教室不足で、増築を繰り返し迷路のような校舎が建っており、特別教室も次々と普通教室に転用され、授業に支障がでている。大阪市が推進している習熟度制度も、空き教室がないため教室を確保するのに苦労している。</p> <p>・工事期間中は校庭が使えず、休憩時間や体育授業の代替案など各学校任せで大丈夫なのか。西区が積極的に動いて子どもたちの体力向上のために、場所を確保すべきではないか。</p>	<p>西区の児童数増加対策につきましては、「大阪市内中心部児童急増対策プロジェクト会議」に参画し、検討を進めているところです。</p> <p>また、学校の増築工事期間中につきましては近隣の公園を体育の授業で使用できるよう教育委員会とともに西区役所からも関係先に働きかけているところです。</p>
5	21ページ ②学校教育支援	<p>・ラウンドテーブルについて。 現実には全く有効に機能していない。定期的に開催もされていない。 市長をトップとする市PT会議後のタイミングで開催され、市PT内容の報告会となっているのが現状。当初のラウンドテーブルの目的はそうではなかったのではないか。 現場を知らない市長が決める方針に振り回されるのではなく、現場の声を聞き、西区として具体的な方向性を提案してほしい。</p>	<p>教育課題につきましては、21ページに記載のとおり、地域住民・保護者及び学校長の意見を聞き取る仕組みとして「教育会議」及び「教育行政連絡会」を引き続き開催し、学校・地域の実情に応じた施策・事業を持続的に取組んでまいります。</p> <p>ご指摘の「ラウンドテーブル」は、「教育会議」に設置した「部会の名称」であり、資料記載の「教育会議」に包含され、「ラウンドテーブル」は、「きらぼか計画」の具体的な取組み内容を示す「西区運営方針」に掲載しています。</p> <p>なお、この「ラウンドテーブル」は、「大阪市内中心部児童急増対策プロジェクト会議」での検討を踏まえ、対応案が具体化されるに伴い、その案について地域・保護者の代表者と意見交換する場として開催してまいります。</p>